

議會報告

第2回定例会 令和2年6月11日～6月30日

〔入沢〕スーパー・シティ構想では、多様で膨大なデータを集めて利用するため、個人情報の流出や目的外利用を懸念する声があります。また、5Gの利活用により、暮らしに便利になる一方で、電磁波による健康被害を指摘する論文も増えています。本市はこの構想にアイデアを提出し、公募に申請する予定ですが、①個人情報の取り扱いと②5Gの安全性に対する見解を伺います。



（補足）公募では今スコロニアル課題による市民主義の意向づては過しました。日本の大嵐が日本の電波防護指針の被曝す、少數であつても、電磁波の影響が大きいです。5Gについても予定されています。未だ幅広く、どのようなとも予定されますが、その概要が市民に分かりづては過しました。年1月12月11日付で、この問題を踏まえて、来年2月11月に指定予定。この問題を踏まえて、年1月12月11日付で、この問題を踏まえて、年1月12月11月に指定予定。この問題を踏まえて、年1月12月11日付で、この問題を踏まえて、年1月12月11月に指定予定。この問題を踏まえて、年1月12月11月に指定予定。

第3回定例会 令和2年9月1日(水)9月24日

修学旅行実施可否の判断

【入沢】新型コロナウイルス感染症対策として、小中学校の修学旅行中止を決定しましたが、決定する際に子どもや保護者の意見を反映させることも必要だと感じます。見解を伺います。

【指導担当次長】修学旅行実施可否は教育委員会が判断すべきものと捉えています。児童生徒の気持ちや保護者の願いは、学校からの情報を受けたうえで、校長会の役員から直接聞き取つたり、臨時校長会議などの議会を設けたりしながら、判断の材料としました。

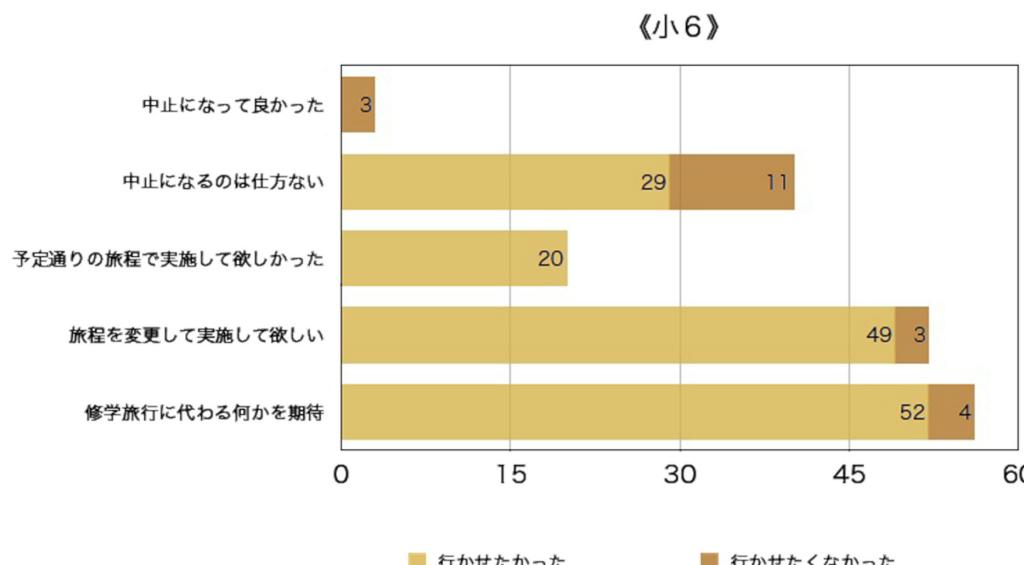
子どもの居場所との連携

【入沢】学校生活になじめない子どもの居場所を運営している民間施設やNPOとの連携について、当局の見解を伺います。

【指導担当次長】学校は子どもの状況に応じて必要な関係機関との連携を取ることが重要ですので、教育委員会としても情報収集を進めたうえで、連携の在り方を研究したりして多様な学習の機会を広げていきたいと考えています。

【補足】修学旅行中止の判断は、ある日突然、教育委員会からオレンジメールで各家庭に届きました。学校教育の主役である子ども達が置き去りにされてしまうように感じられましたし、また、楽しみにしていた子ども達の気持ちを思うと胸が痛みます。同時に、本来は学校単位で決定できるものを、教育委員会の判断で一律中止とした背景には、それなりの何かがあるのだろうとも感じました。そこで、今回のような決定に至った過程を議会で質問させていただきと共に、他の自治体ではどのような対応をしているのか調べた上で、一方的な決定ではなく、学校単位で、生徒や家庭と対話を重ねた上で代替え案での対応が本市でもできないかと提案しました。なお、この質問の結果分かった事として、中止の決定の前には教育委員会から校長へのヒアリングがあつたとのことです。しかしながら、私が強く感じたのは「主体的・対話的で深い学び」が奨励されていく今、子どもと保護者と学校で話し合い、自分たちで感じて考えて決定するという過程の下、行事が決められていく事があつても良いのではないかという事です。

修学旅行の中止についてどのように捉えてますか？（複数回答可）



アンケートの結果はHPで公開しております。
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



修学旅行中止に関する保護者アンケート

令和2年度、前橋市的小・中学校における修学旅行が中止となりました。これを受け、保護者の皆様にご協力いただきアンケート調査を実施いたしました。

茨城県石岡市で試験設置されている小水力発電の視察へ。水を受け止める自動開閉式ブレードが特徴的であり、水深が低いところでも発電できるという物。近くのハウスにはパパイヤがなつていた。発電した熱を利用して植物の成長点を温め、冬でも栽培出来る取り組みの実証実験をすすめるという。あるものを活かす、これから自燃エネルギーに期待します。



小水力発電の視察へ

不登校のお子さんをもつ保護者の方、学校教育に関心のある方との座談会。やつぱり対話しながらつながる場がもつと必要と感じます。オルタナティブ教育など、新しい学び場の創出について考える機会を増やしていきます。



学校について語ろう座談会